

令和5年度
事業報告

社 会 福 祉 法 人 天 光 会
み ど り が 丘 保 育 園

令和5年度 みどりが丘保育園 事業報告

園児数

0歳児	1歳児 2歳児	3歳児	4歳児 5歳児	計
15名	56名	34名	68名	173名

職員配置

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	子育て	一時保育	フリー
保育士	5名	5名	6名	3名	2名	2名	1名	2名	4名
保育補助									1名

栄養士	看護師	調理師	調理補助	事務	用務	育休
1名	1名	2名	2名	1名	0名	3名

各種会議

開催日	会議名	内容
毎週金曜日	週案会議	翌週日程 行事等連絡事項 その他特記事項共有
第1水曜日	療育保健衛生委員会	気になる子についての情報共有
第2水曜日	事故虐待防止委員会	ヒヤリハット、事故報告、マルトリートメント実態共有
第3水曜日	給食会議	嗜好調査、食育情報共有
第4水曜日	防災会議	避難訓練反省
随時	チーフ会議	運営ミーティング 緊急事項対策会議

園内研修

開催月	題材	内容
5月	嘔吐処理	嘔吐処理方法のデモンストレーション
6月	マナー研修	電話対応・クレーム対応・言葉遣い・連絡帳の書き方などのデモンストレーション
7月	研修報告	幼児の運動機能について リズムトレーニング(実技)
8月	研修報告	子どもの読み取りから環境構成へ
9月	研修報告	気になる子どもの育ちを支援する関わり
10月	千葉県自然環境保育制度 認定 研修報告	安全管理研修 リスク発見3つの視点・安全管理マニュアルと安全計画の作成
11月	千葉県自然環境認定制度 研修報告	幼児安全法支援員研修 乳幼児の一次救命処置の手順 心肺蘇生 AED
12月	千葉県自然環境認定制度 研修報告	安全管理研修 リスク発見 デモンストレーション 幼児安全法支援員 応急処置方 デモンストレーション
1月	千葉県自然環境認定制度 実践報告	千葉県自然環境保育認定制度への半年間の取り組みの報告 グループディスカッション
2月	1年間の振り返り	園内研修で得たものをどう活かしているかを各々が振り返る。

園外研修

5月	体育実技研修会	幼児の運動機能について
6月	保育内容研修会	子どもの読み取りから環境構成へ
6月	保育内容実務研修会	気になる子どもの育ちを支援する関わり
7月	順職員研修会	「困った」子どもではなく、何かに「困っている」子ども どの子どもつつみこむインクルーシブ保育の実際
7月	千葉県保育研究大会	・配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて ・新たな時代の保育実践～すべての子どもに向けて～
8月	フレッシュメニュー発表会	給食メニュー試食会
8月	安全管理研修	リスク発見3つの視点 安全管理マニュアルと安全計画の作成
10月	幼児安全法支援養成講習	乳幼児の一次救命処置の手順
10月	千葉県保育協議会障害児 保育研究会	インクルーシブ保育につなげる配慮
11月	保育士・保育教諭懇談会	“子どもの最善の利益”を守るために
11月	給食実技研修会	各園のおすすめのレシピを集め、各園で実際に調理、給食に提供してみ る。その結果を情報提供し共有する。
11月	病児・病後児保育に関する 研修会	“病気の子どもが安心して過ごすための環境構成”
1月	食育推進担当者研修会	一人ひとりの子どもとその保護者へよりそう食育
2月	保育園・幼稚園等BCP 訓練	BCP訓練 「相模トラフ沿い地震版」～初動対応～

※6月～12月 キャリアアップ研修(幼児教育 乳児保育 障害児保育 保護者支援子育て支援 食育・アレルギー マネジメント) 13名受講

- 5月より新型コロナウイルス感染症が5類となり、様々な方面からコロナ前の生活に戻りつつある中、園外研修に関しても以前のような開催が多くなった。その為千葉県保育協議会山武支会主催の研修を中心に協議会推進の研修やキャリアアップ研修など積極的に受講するようにした。研修形態もオンラインのものもあったが、ほぼ対面式、グループワーク中心のものになっていた。様々な保育所から集まる保育士達の意見交換はとても刺激となり、自分達の保育と比較しながらみどりが丘保育園に合った保育を取り入れるよう前向きな姿勢になっていた。
- 園内研修においては、年間予定として組み立て計画的に行う事を見越していた。しかし、10月に千葉県より、千葉県自然環境保育認定制度が新たに始まり、認定を受ける働きを行った。それに伴い園全体で自然環境を活かした保育の方向性や具体的計画、また認定を受けるにあたって必要な研修の報告、学びを強化するために10月以降の園内研修の予定を一変し、下半期園内研修は自然環境保育認定制度に関連するものに変更した。危険リスク回避や安全計画、応急処置方を始めに自然に触れた身近な保育とはどんなものがあるか、今取り組めるもの、来年度取り組んでいきたいもの等研修を通して意見交換をしていった。年明けには秋から行ってきたものの実践報告を行い、成功体験に繋がったものや、失敗体験から学べるものなどの気付き改善策等の振り返りから来年度の目標や計画をあげていき来年度に繋げていけるよう意識を高めていった。

組織体制

- ・各事業所・各クラスでのミーティングを遂行し、問題点、改善点の把握から実行改善までを迅速に対応。また、ミーティングにおいては、子ども達の個々の発達状況や気づきを職員間で意見しやすい場として設け、密な情報共有からの保育のステップアップへと繋げる。
- ・他部署間の報・連・相の徹底。
- ・働きやすい職場環境の実現に向けて業務の効率化を計画的に進めていく。(進行中)
- ・園児・職員の健康状態を組織的に把握し、感染症への迅速な対応を心掛け、他機関との連携が円滑に進むよう努力した。また、感染症が完治し登園する際の提出書類が変更になったのに対し、保健指針に沿って作成し直した。保護者が戸惑わないように、お知らせ配信や園のしおりの改定などで伝えていく他に、個別対応をしていきながら浸透できるようにしていった。
- ・園児・職員の健康状態を組織的に把握し、感染症への迅速な対応を心掛け、他機関との連携が円滑に進むよう努力した。また、感染症が完治し登園する際の提出書類が変更になったのに対し、保健指針に沿って作成し直した。保護者が戸惑わないように、お知らせ配信や園のしおりの改定などで伝えていく他に、個別対応をしていきながら浸透できるようにしていった。
- ・各分野別リーダーの年間目標を明確化することでサブリーダー、その他職員が共通理解を図り業務分担が適切に行えた。
- ・チーム間の連携強化を強め、組織体制の充実を図る。
- ・人事考課を取り入れ、個人が園の方向性を把握した上で、やるべき事を明確化、評価につなげた。
- ・各委員会のリーダーが委員会やミーティングを通して参加者の中心となりリーダーシップを図り、専門知識の向上に努めた。

年間行事

日程	行事名	内容
4月3日	入園のお祝い	各クラス分かれてのクラス説明会。
5月10日～	保育参加	各クラスフリー参観形式 1日2～3名限定
5月中旬	春の遠足	3・4・5歳児対象 芋苗植え・公園遠足等
6月23・30日	歯みがき教室	3・4・5歳児対象 健康増進活動
6月下旬	内科・歯科健診	前期
6月12日	交通安全教室	3・4・5歳児対象 交通安全促進活動
7月12～16日	夏まつり	遊戯室を会場とし、クラスごとに日にちを分けて開催。
7月15日	プール開き	幼児クラスは大型プールを設置。熱中症警戒アラート発動時は中止。
9月1日	引き渡し訓練	大型地震想定 保護者引き渡し
9月下旬 10月上旬	親子運動会	0歳児クラス⇒遊戯室にて開催 1・2歳児クラス⇒園庭にてクラス別で開催 幼児クラス(3・4・5歳児)⇒大網小学校にて開催 保護者一家族2名制限
10月中旬	秋の遠足	3・4・5歳児対象 芋ほり・公園バス遠足等
10月下旬	内科検診・歯科検診	後期
11月22日	卒園遠足(5歳児)	千葉市動物公園
12月上旬～	発表会(3・4・5歳児)	1日一クラスの発表会。保護者各家庭2名参加。

12月25日	クリスマス会	遊戯室にて全園児参加。職員によるハンベル演奏とダンス披露。各クラスにてプレゼント開封
1月12日	お正月お楽しみ会	日本のお正月の文化に触れながら、1年の健やかな成長と健康を祈願する。
2月2日	節分	年齢に合わせた行事内容。豆の使用なし
2月中旬	歯みがき教室	健康増進活動
3月3日	ひなまつり	年齢に合わせた行事内容。
3月7日	お別れ会	4歳児から代表者を選抜し、5歳児にお礼の言葉や歌のプレゼントを渡す。
3月20日	卒園式	卒園証書授与。 会場は遊戯室。保護者1家族2名参加可。 式後は謝恩会を行った。

- ・ 新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、基本的な感染症対策は引き続き行いながら、コロナ前に行っていた形に少しずつ戻したり、行事の在り方、参加の仕方を改めて考え直したりしながら取り組んでいった。
- ・ 季節の行事では、クラス毎年齢に合った時間・内容を考え子ども達が無理のないよう楽しめるものを考え行っていった。クラス毎で行う行事もあれば職員が出し物を披露する形式があったり、異年齢交流も踏まえた行事の形にするものだったりとして試行錯誤しながら進めた。
- ・ 幼児の運動会は大網小学校を借りて行った。1家庭につき2名までの保護者参加可能。スペースも余裕があり、子ども達ものびのびとした様子で行っていた。反面職員、子ども共に小学校で行う事が初めてという状態が多く慣れ親しんだ場所でない為に緊張や戸惑いも見られた。しかし、年長クラスに関しては、その緊張も保護者に見てもらいたい力に変換する様子も多くみられ、終了した時には達成感を味わった表情であった。
乳児クラスは1クラスずつ日を設け、園庭や遊戯室で行った。
- ・ 発表会は、クラス毎の開催日を設け、一家庭保護者2名の参加可能形式をとった。グループに分けた演目とクラス一丸となって披露する演目を用意し開催した。クラスごとに子ども達と内容を決め、歌やダンス、劇などを発表する。友達同士話し合いの場を設け、意見し合い、辛い時は励まし合い、ひとつの目標に向けて協力し合うなど、子ども達の共生力を発表会という行事を通して育てていく。
- ・ 卒園式は、会場は遊戯室、保護者各家庭2名参加可能形式。平日の通常保育の中での式であった。式後は謝恩会を行った。当日は年長クラス34名全員出席し卒園証書授与式を行った。
- ・ 季節の行事では、クラスごとに絵本などを用いて行事の由来や意味あいなどを子ども達が興味を抱くよう試行錯誤し、製作や遊びの発展につなげていく。
- ・ 実物を目にし、触れる喜びを感じてもらえるよう、芋苗植え・芋ほり実体験や本物のこいのぼり、雛人形などを園内に展示する。

新人教育

新卒者 1 名 中途採用正職者 1 名 契約職員 3 名 入職

- ・新入社員オリエンテーション
- ・新人正規職員メンター配置（保育士ノート記録 所見 指導）
- ・面談

新卒者向けのオリエンテーションを試みたが、保育中では中々伝えられない内容を集中的に座学として学べる機会を与えられたことは良い結果だったと思う。昨年度、1日で詰め込みすぎてしまい、新卒者の負担につながる場面もあったことを反省し、今年度は法人が統一で行う内容1日と、園で行う内容を2日と計3日に分けて行った。時間的には余裕が持てたのではないかと思う。

実習受け入れ

- | | | | |
|-----------|----|--------|-------------------|
| ・植草学園大学 | 1名 | 保育実習Ⅱ | 5月15日～5月26日（10日間） |
| ・植草学園短期大学 | 1名 | 保育実習Ⅱ | 7月3日～7月14日（10日間） |
| ・千葉明德短期大学 | 1名 | 保育実習Ⅱ | 8月23日～9月5日（12日間） |
| ・千葉敬愛短期大学 | 1名 | 保育実習Ⅱ | 8月23日～9月5日（12日間） |
| ・千葉明德短期大学 | 2名 | 保育実習Ⅰ | 1月22日～2月3日（12日間） |
| ・帝京科学大学 | 1名 | 保育実習Ⅰ | 2月7日～2月22日（10日間） |
| ・和洋女子大学 | 1名 | 保育実習Ⅰ | 2月13日～2月27日（12日間） |
| ・東海大学 | 1名 | 保育実習Ⅰ | 2月13日～3月2日（12日間） |
| ・千葉明德短期大学 | 2名 | 乳児保育体験 | 9月22日 |

今年度も積極的に実習生の受け入れを行うことができた。

ボランティア受入・職場体験・町探検

（ボランティア受け入れ）

新型コロナウイルスが第5類に引き下げられたため、4年ぶりにボランティア受け入れを行った。期間、受け入れ人数は以下の通り。

- | | | |
|------------------|-------------------|------|
| ・夏季【7月24日～8月25日】 | 小学生28名、中学生4名、大人1名 | 計33名 |
| ・春季【3月】 | 中学生1名、短期大学生2名 | 計3名 |

小学生は午前中のみ(但し、職員の子どもや中学生以上の兄姉が同日にボランティアを行う場合は午後2時まで参加可)。中学生以上は午後以降も参加可能として行った。参加した子ども達は卒園児や、職員の子ども以外に、地域の子ども達も参加していただけたので、地域交流を行うことが出来た。また、この様な機会を作ることによって保育士という仕事に興味を持ち、将来の人材確保につなげていきたい。

(職場体験)

令和5年度なし

(町探検)

令和5年度なし

業務委託

日程	内容	委託先
6月6日 11月28日	内科検診	千葉東こどもクリニック（松崎 真由美 先生）
6月22日 11月30日	歯科検診	伊藤歯科医院（伊藤 喜清 先生）
5月15日 10月13日	芋苗植え 芋ほり	内山農園
5月23日 5月30日 2月16日 2月20日 2月21日	歯みがき教室	大網白里市健康増進課歯科衛生士
6月12日	交通安全教室	東金警察署

苦情報告

① (内容)

- ・ 保育園に行きたくないと言っている保護者に訴えている
- ・ 毎日保育園に行きたくないと言っている。先生やだと訴えているので何かあるのか？

(対応)

- ・ 保育園での様子を丁寧に伝える。進級したばかりで新しい環境に慣れていない事や「やだ」という言葉の中に様々な意味が込められているので、本当に保育園に行きたくない気持ちもあれば、体調が悪かったり、外で遊ぶのが嫌だったり、保護者の方と一緒にいたかった等要因はたくさんある事が考えられる。もう少し様子を見させてほしい。また、園全体でこのことを周知し、担任のみならずたくさんの人の目で保育をしていきたい。しばらく様子を見て、改めて家庭での様子や園での様子を共有していきたい。

② (内容)

- ・ 友達とのトラブルについて

(対応)

- ・ 喧嘩やいじめといった子ども同士のトラブルについて、クラス内で全体に向けて、また該当する子ども達に対して個別に話をしていく。
- ・ 職員間で周知し、全体で園児の様子を見守る体制をつくる。

③ (内容)

- ・ 保育士の保護者対応について
何か不備があったときの伝え方が一方的で態度が悪かった。

(対応)

- ・直接話し合いの場を設けていただき、保護者の想いを直接保育士に伝える。
誤解があったとは言え保護者の訴えを真摯に受け止め不適切な対応に向き合っていく旨を伝える。
- ・謝罪したら終了ではなく園児との関わり方や注意の仕方などを職員間で意見交換できる環境をつくるよう指導。

④ (内容)

- ・引き取り訓練を行う曜日を検討してほしい。金曜日の荷物がいつも以上に多い日に何人もの子どもを抱え、保護者もたくさんいる中困難である。

(対応)

- ・年間行事を決める際の想定が甘く、不具合が生じてしまった事を謝罪。
来年度の行事予定を見直し、保護者の意見をもとに細部まで想定し組み立てていく。

⑤ (内容)

- ・行事予定や参加人数などの表記が分かりづらく当日になって指摘された。事前連絡や表記をわかりやすくしてほしい。また、対応も一方的でよくなかった。

(対応)

- ・行事予定表の字体を変えたり色付きにしたり、わかりやすい表記に変更する。
- ・余裕ある期間に数回お知らせ配信や掲示物などで知らせる。
- ・職員一人ひとりが行事予定を把握し、保護者の問い合わせに対し共通した返事ができるよう徹底していく。

つぼみ組(0歳児クラス) 事業報告

基本方針

- ・子どもの気持ちや欲求を丁寧に受け止めていく。
- ・感覚器官を発達させ、様々な遊びを通し、感性を育てる。
- ・保育者との関りや遊びの中で、楽しさを感じられるようにする。

クラス目標

- ・人への基本的信頼関係を育めるよう、温かみのある触れ合いやゆったりとした関りを大切にしていく。
- ・一人ひとりの子どもの発達を理解し、個々に合わせた保育を行う。
- ・社会人としての意識を持ち、共に学び、保育士としての知識を深める。

活動報告

○室内遊び

- ・音の鳴る玩具 ・ままごと ・ブロック ・お絵描き ・シール ・絵本 ・パズル
- ・ポットン落とし 等

○戸外遊び

- ・固定遊具 ・砂遊び ・ボール ・かけっこ 等

○その他

- ・感触遊び(絵の具、小麦粉粘土) ・巧技台 ・水遊び ・散歩 等

<行事>

- ・保育参観 ・夏まつり ・親子ふれあい運動会 ・消防訓練
- ・クリスマス ・節分 ・ひな祭り ・身体測定 ・避難訓練 ・内科検診 ・歯科検診 等

反省

- ・こまめに家庭と連携を取りながら、子ども達一人ひとりの発達状況を理解し、個々にあった声かけや関わり、援助をすることができた。またスキンシップを多くとることを大切にし、子どもた

ちと信頼関係を気づくことができた。

- ・保育がしやすい雰囲気作りを心掛け、職員同士よく声を掛け合い、連携しながら保育を行うことができた。

わかば組・ふたば組（1歳児クラス）事業報告

基本方針

意欲の高まりを大切にし、やってみたいという気持ちを育てる
自己主張を受け止め個性を大切にする
遊びの中で友だちや保育者を模倣する楽しさを伝えていく

クラス目標

安心安全な環境のもと、自我の芽生えに寄り添う
簡単な身の回りの事に興味関心が持てるようにする
社会人として、保育者として意識を持ち、子どもたちや保護者、職員へ適切な関わりを心がける

活動報告

○室内遊び

ままごと、パズル、積み木、お絵描き、電車、車、ポール、人形、等

○戸外遊び

固定遊具（滑り台、アスレチック、三角山）ボール、砂場、ままごと・等

○その他

感触遊び、散歩、触れ合い遊び・食育遊び・等

<行事>

・子どもの日・保育参観 ・夏まつり ・親子ふれあい運動会 ・クリスマス・お正月・節分・ひな祭り・避難訓練・誕生日会 ・身体測定 ・避難訓練 ・内科検診 ・歯科検診・等

反省

1歳児2クラスだが合同で過ごす時間を増やし子ども同士の関りや遊びの幅も広がっていた。また職員同士の連携も取りやすかった。クラスの中では一斉保育ではなく、少人数ずつ声をかけ関わることで、一人ひとりとの関りも多く取れた。また子どものやってみたいや「自分で」の気持ちに寄り添うことが出来た。

ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）事業報告

基本方針

- ・自己主張を受け止めつつ自分でしようという気持ちを育てる。
- ・言葉で伝えたり、言葉でやり取りしたりしながら、語彙を増やす。
- ・いろいろな遊びを通して、指先、手先、全身を使うことを楽しめるようにする。

クラス目標

- ・安心して表現したり、意欲を持ったりできるような関係、環境作りをする。
- ・ゆったりとした時間の中で、子ども同士のかわりや遊び、興味関心を広げたり深めたりする。
- ・保護者、職員間で信頼関係を築き、共に子どもの育ちを考えていく。

活動報告

○室内遊び

・ままごと ・ブロック ・お絵描き ・シール ・絵本 ・プラレール
・ミニカー ・パズル ・粘土 等

○戸外遊び

・固定遊具 ・砂遊び ・スクーター ・三輪車 ・フープ ・ボール
・かけっこ ・おにごっこ 等

○その他

・絵の具 ・小麦粉粘土 ・巧技台 ・水遊び ・散歩 等

<行事>

・保育参観 ・夏まつり ・親子ふれあい運動会 ・消防訓練 ・パン屋さんごっこ
・身体測定 ・避難訓練 ・内科検診 ・歯科検診

反省

- ・子ども達一人ひとりの思いを受け止めながら丁寧にかかわることで、子ども達が安心して自分らしさを表現したり、自分の事は自分でしたいという意欲を持ったりするようになった。
- ・近くで見守ったり、一緒に遊んだりしながら、その時々の子どもの様子に合わせた言葉かけやかかわりを心がけたところ、子ども達同士のかかわりや遊び、興味関心を広げたり深めたりできた。
- ・職員間でこまめに子どもたちの様子を話し合うことで共通理解を図り、保育を行なった。保護者の方とは、家庭と園それぞれの様子を伝え合うことで信頼関係を築き、子ども達の成長を共に喜んだり、「育ちについて」を考えたりできた。

幼児組（3・4・5歳児クラス）事業報告

基本方針

- ・いろいろな事に『やってみよう』と挑戦する。
- ・基本的な生活習慣を身につけ、生き生きと生活する。
- ・言葉への関心や興味を高めて相手への理解や言葉の表現力を養う。
- ・一人ひとりの個性特徴を尊重し、思いを汲み取り認め、自己肯定感がもてるようにする。
- ・人との関わりの中で、社会における必要な習慣や態度を身につけ、思いやりの気持ちを育てる。

クラス目標

- ・職員と連携を取りながら『生きる力』を考える。
- ・10の姿を意識し、子ども一人ひとりの発達に応じた関わりをしていく。
- ・保護者と職員、又職員同士の連携・協力・理解を図り、子ども達の成長の喜びを共有しつつ相互の信頼関係を築く。

活動報告

○室内遊び

- ・ままごと ・ブロック ・粘土 ・パズル ・絵本 ・お絵描き ・ぬりえ ・製作 等

○戸外遊び

- ・固定遊具 ・砂遊び ・三輪車 ・スクーター ・ボール ・鬼ごっこ
- ・自然物を使って遊ぶ（草花・木の実・小石・虫探し 等） 等

○その他

- ・絵の具・水遊び・散歩・運動遊び（巧技台・バランスストーン・跳び箱・鉄棒 等） 等

○行事

- ・遠足・保育参加・夏まつり・運動会・消防訓練・発表会・食育活動（キャンプごっこ等）
- ・クリスマス ・節分 ・ひな祭り ・身体測定 ・避難訓練 ・内科検診 ・歯科検診

反省

- ・自然環境保育認定を受け幼児組全体で自然遊びや環境設定等、年間を通して意識し保育することができた。また、自然環境保育園内研修を各クラス担当したことで、幼児組自然環境保育を園全体で共通理解を図ることができた。
- ・幼児組職員で子ども一人ひとりを把握し協力して保育を行った。活動の動線上協力する場面が多く主体的に案を考え実践し試したり解決したりできた。
- ・保護者との信頼関係は垣根を越え担任以外の職員に相談する等コミュニケーションがとれ、共に子ども達の成長を喜び合えることができた。

「特別保育」事業報告

事業方針

- ・ 地域の子育て家庭の心の拠り所になるような場所や情報を提供することで、子育て支援・児童福祉の目的を図る。

事業目標

- ・ 子育て家庭の気持ちに寄り添い、親子が安心して過ごせる関係・環境作りをする。
- ・ 専門職としての意識や知識を高め、家庭での子育ての実践につながるようにその家庭に応じた支援をしていく。
- ・ ポジティブアプローチを心掛け、子どもや保護者・職員・地域の方との信頼関係を築く。

～子育て支援センター～

実績報告

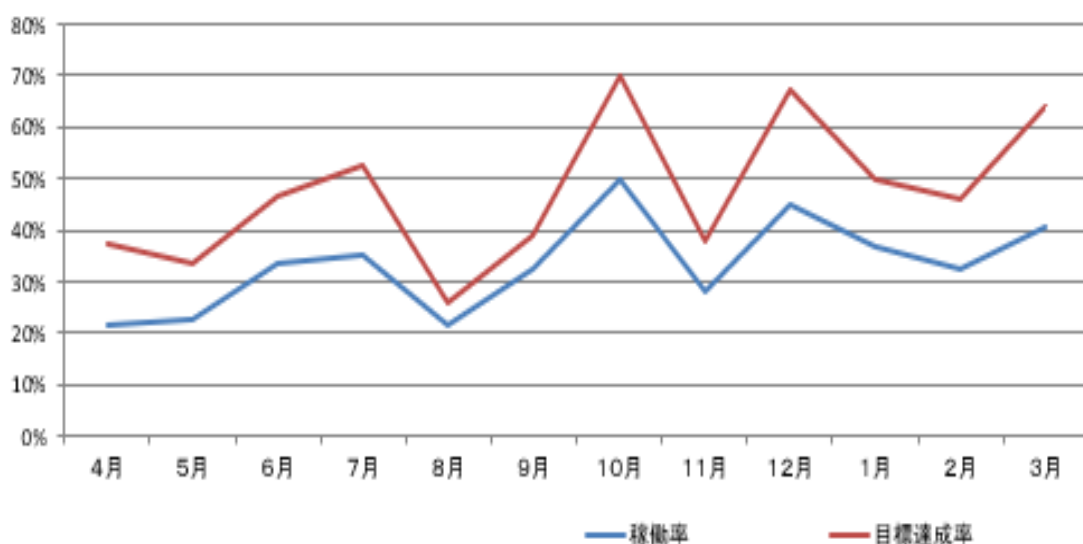
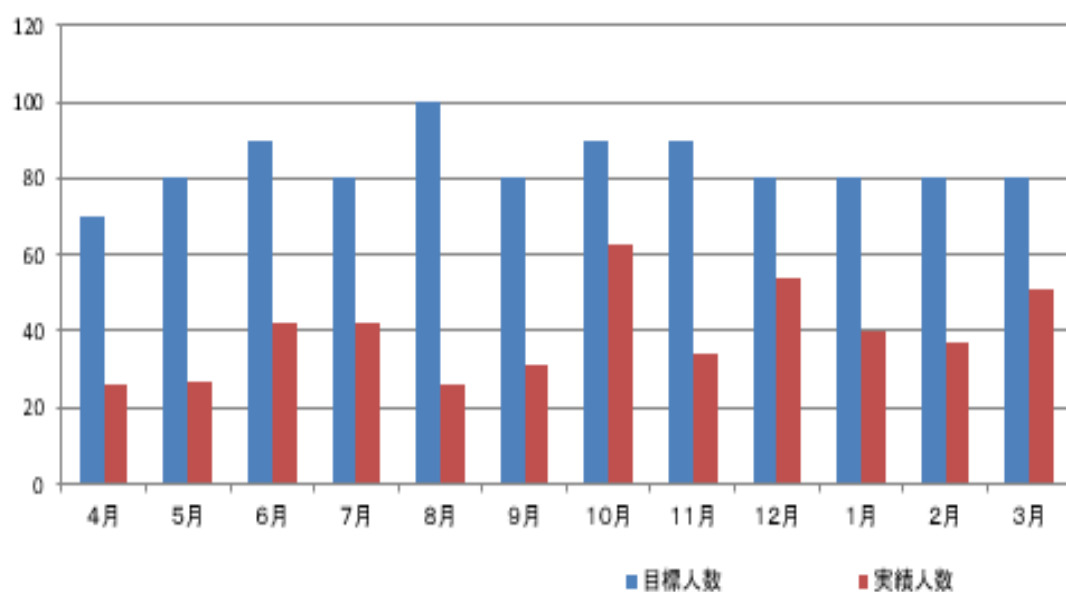
- ・ 市内の子育て家庭へのポスティング、商業施設や小児科等へのポスター掲示を行なった。
- ・ 6月、11月市内の子育て支援センターとの交流会を通して情報交換や意見交換を行なった。
- ・ 6月の千葉県子育て支援事業研修会では、山武支会の代表として活動報告を行い、つくしんぼくらぶの活動を広く知ってもらうことができた。
- ・ 1月には、講師を招いて山武市子育て支援事業担当者研修会を行い、子育て支援について学びをふかめることができた。

反省

- ・ コロナの5類への移行に伴い、焼き芋体験やハロウィン、クリスマス会などの大型イベントを行うことができたことで、多くの利用に繋がった。
- ・ 月に1・2回程度青空広場を行ったことで、新規利用者が増え、利用人数も伸びた。
- ・ 新しい取り組みとして、お菓子を囲みながらゆったりとした空間の中ママ同士で話しができる「リフレッシュ DAY」や、地域のお店を知ってもらったり一年間の感謝を伝えたりする場として「つくしんぼカフェテリア」を企画し、キャンセル待ちが出るほどのイベントとなり盛り上がった。
- ・ 予約方法やアピール方法（インスタやラインなど）の活用・運用についての情報をまとめ、実践に移していけるとより利用者も増えていくのではないかと考えられる。

令和5年度 子育て支援センター年間稼働計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目標人数	70	80	90	80	100	80	90	90	80	80	80	80	1000
稼働日数(日)	20	20	21	20	20	16	21	20	20	18	19	21	236
定員(人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
実績人数	26	27	42	42	26	31	63	34	54	40	37	51	473
稼働率	22%	23%	33%	35%	22%	32%	50%	28%	45%	37%	32%	40%	33%
目標達成率	37%	34%	47%	53%	26%	39%	70%	38%	68%	50%	46%	64%	47%



～一時保育～

実績報告

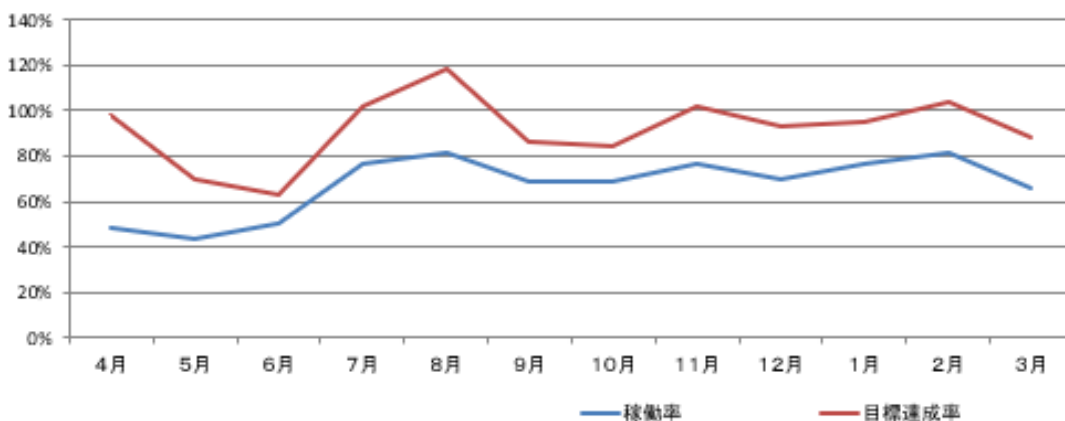
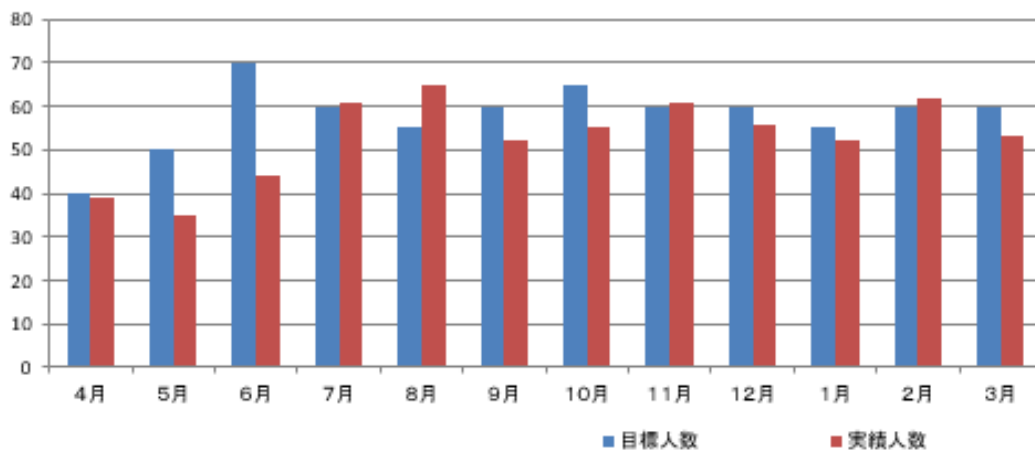
- ・市内の子育て家庭へのポスティング、商業施設や小児科等へのポスター掲示を行なった。
- ・就労で利用している方に対しリフレッシュでも利用可能であることを伝え、育児と仕事の両立による負担が軽減できるよう配慮した。
- ・長時間保護者から離れることによって心身への負担がかかることがあるため、無理なく1日を過ごせるよう配慮して関わった。

反省

- ・年度初めは4名いた職員が夏には半分の2名になってしまったが、病後児担当職員も含め特別保育の職員間で連携し、利用人数等の制限をかけることなく運営することができた。
- ・一時保育と子育て支援センターの職員が同じであったため、両方の利用者に声を掛け、気兼ねなく利用してもらえるよう工夫した。

令和5年度 一時保育事業年間稼働計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目標人数	40	50	70	60	55	60	65	60	60	55	60	60	695
稼働日数(日)	20	20	22	20	20	19	20	20	20	17	19	20	237
定員(人)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
実績人数	39	35	44	61	65	52	55	61	56	52	62	53	635
稼働率	49%	44%	50%	76%	81%	68%	69%	76%	70%	76%	82%	66%	67%
目標達成率	98%	70%	63%	102%	118%	87%	85%	102%	93%	95%	103%	88%	91%



～病後児保育～

実績報告

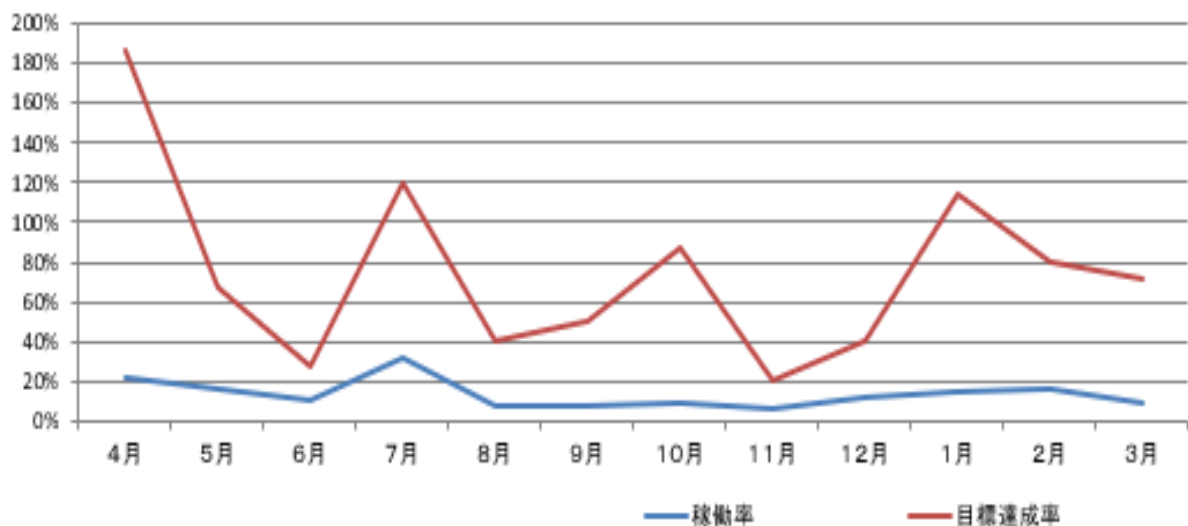
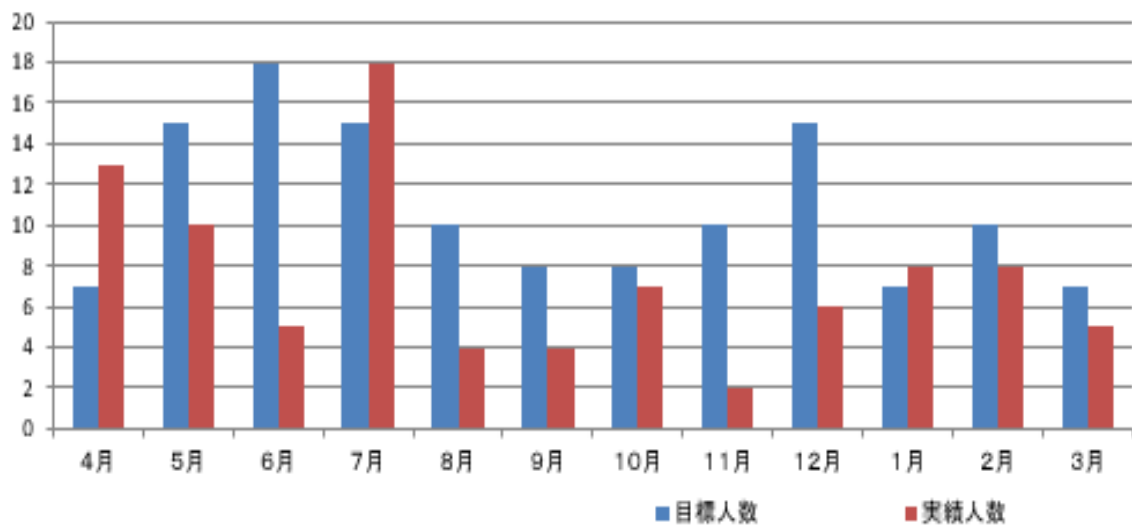
- ・送迎時や連絡帳で個々の体調の情報共有を保護者と行い、個々の体調や症状、ペースに合わせて衣・食・睡眠等の工夫をした。また、利用者のいない子育て支援センターで遊んだり、貸切状態の遊戯室で遊んだりして気分転換を図るとともに、家庭的な雰囲気ですっきりと過ごせるよう心がけた。
- ・咳や鼻水がみられる時などには加湿器を使用したり、午睡時に上半身を高くしたりして症状による苦痛の軽減を図った。また、保護者への症状に合わせたアドバイス等を行なった。
- ・病後児利用時の不安を少しでも軽減できるように、積極的にクラスに入り普段から子どもたちと触れ合う機会を作り、身近な人という認識を持ってもらう（＝慣れてもらう）ように配慮した。
- ・利用者が少しでも増えるように卒園児や園外児の病後児利用者を対象に次年度用登録票を配布（郵送）した。
- ・体調を崩しやすい園児の数名が病後の登園時に必ず利用するような傾向がみられるようになった。

反省

- ・コロナの5類移行に伴い利用者数の増加を予測していたが前年度とほぼ変わらず。年間利用者数100名を超えることができなかったが予約数は昨年度よりも増加しており100名を超えていた。（うち27名当日キャンセル）
- ・病後児を利用する際に安心して過ごせるように、引き続き、普段から子どもたちとの触れ合う機会をできるだけ多く持つよう工夫していきたい。
- ・コロナ禍以降の登園規制（解熱後24時間以上経過してからの登園、最終嘔吐・下痢後24時間以上経過してからの登園という規制）があり、病後体調が戻るまで家庭で療養しているため病後児利用を検討することがなくなっているのではないかと考えられる。来年度も利用者数の増加がみられない傾向があるなら、病後児のみ登園規制の緩和を検討しても良いかと考える。

令和5年度 病後児保育事業年間稼働計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目標人数	7	15	18	15	10	8	8	10	15	7	10	7	130
稼働日数(日)	20	20	17	19	18	18	18	12	16	18	17	19	212
定員(人)	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3
実績人数	13	10	5	18	4	4	7	2	6	8	8	5	90
稼働率	22%	17%	10%	32%	7%	7%	10%	6%	13%	15%	16%	9%	14%
目標達成率	186%	67%	28%	120%	40%	50%	88%	20%	40%	114%	80%	71%	69%



令和5年度栄養課事業報告

【基本方針】

- ・日々提供している給食を基に季節、食材、マナー等の日常的食育活動を充実させていく
- ・食に関する体験を実施し、楽しさや興味を引き出す
- ・家庭、担任職員と連携し、乳幼児期で養うと良いとされる食生活習慣を定着出来るよう、サポートする

【年間事業目標】

- ・年齢別また、特に乳児は個々の成長や発達に合わせて子どもが自発的に食への興味や関心が持てるような働きかけを行う
- ・感染症対策を行いながら可能な限りでの食育活動を計画し、実施する

実績報告

1. 給食管理については、月に1度の給食会議を通して各年齢別の情報交換、相談を行った。保育士から多く取り上げた内容の1つに偏食児の対応方法があったが、偏食児に対しては、給食の時間が苦痛にならない様、無理強いをしない様促した。
2. 給食栄養量を満たすことを目的に計画的に献立作成をし、栄養計算と年齢別給与に努め、さらに毎回園児の残食調査を実施し、嗜好や盛り付けを研究しながら残食防止を図った。
3. 栄養指導については成長曲線を著しく上回っている児童に対し、看護師、担任と連携しながら助言を行った。また、成長曲線が下回っている4歳児で定期的を受診を行っている子は昨年度に引き続き保護者の希望により、午前中、牛乳を提供して成長曲線が下回らない様に留意した。
4. 給食担当者の健康管理として、検便、毎日の健康チェックを徹底させると共に、食品の取り扱い、施設調理器具の消毒等の衛生に万全を期し『食中毒感染症』の発生防止に努めた。
5. 食育については、年齢に沿った計画のもと、日々の日常の中で食に興味関心が持てるような食事マナー、ごっこ遊び、クッキングを取り入れた。また、5歳児は給食の中に含まれる食材でどの様な栄養が含まれているか学び、栄養バランスを考えながら5日間分の献立作を行った。

反省

1. 今年度は土曜日の弁当でのアレルギー等の誤飲、誤食事故が1件報告された。土曜日という事で給食職員は不在、通常保育の流れとは異なっていたこともあったが、土曜保育の弁当、おやつ管理マニュアルに沿って行えていなかった事が改めて判明した。数年前、土曜保育の弁当を誤って違う園児に食べさせてしまった際に作成された土曜保育の弁当マニュアルを再度全職員の理解を徹底していかなければならない。
2. 給食の際は毎回同じ席に座り、クラス子ども達全員で食事の挨拶を行っていた。しかし、園児自ら考え、行動できる様事を目標ということをもふまえ、今年度より食事の準備が出来た子から順番に着席をし、ひとりひとり食事の挨拶を行う様にした。それにより概ね自ら行動出来る力が養うことが出来ている反面、考えることが苦手な子ども達との差が多く出てしまっている。後者の子がどのように促していくかが今度の課題点として取り組む必要がある。
3. 今まで、給食職員が中心として野外での焼き芋などを行っていたが、今年度は保育士の発信により、栄養士の助言の素、保育士が準備、片付けまで行うことが出来た。日々子ども達と蜜に関わっている保育士が率先して行うことで、タイムリーに子ども達の興味を形にする事が出来た。

人材資質向上マネジメント執行報告

【基本方針】

・人事考課、個人目標シートに基づきながら各職員が働きやすい環境作りについて話し合う機会を設定し

実践していく

・計画的に適時に応じた人材習得を目指す

【年間活動目標】

・働き方改善の考案、実施 ・人件費を考慮した人材配置

事業報告

① 求人関係

・各学校に適正時期に就活用の書類を郵送した。また、近年、明德短期大学生からの新規採用者が続いているので、現在在籍している明德短期大学生 OG 職員の学生向けパンフレットを作成し、学校訪問を行った。明德短期大学の他、職員の出身校が 3 名以上いる学校(植草学園短期大学、聖徳短期大学)にも明德短期大学各学校の求人募集要項の書式に合わせて PC で入力、手書きをし、学校専用の求人募集要項がない場合用の自園の求人募集要項の見直しやパンフレットを作成。

・園見学や就職希望者の学生からの問い合わせに対しての応答、案内面談日時の設定

・採用試験の結果郵送。 ・新入職員向けオリエンテーションの計画、実施。

・採用面接の際は、客観的な面接が出来る様、様々な角度から見られるような採点方式を取り入れるための書式を作成した。

② 働き方改革について

・新入職員向けに入職 1 ヶ月、3 ヶ月、半年毎に面談を実施するため、メンターやリーダー職員と新入職員からの聞き取りを行った。良い点と改善点など新入職員に面談にて伝達。

③ 人事考課表について

職員の質の向上、適正な配置(キャリアアップを含む)を目標とした人事考課表の書類管理

④ 人員配置について

・令和 6 年度新規雇用は以下の通り。

(新卒者雇用 1 名、常勤パート職員 1 名)

・令和 6 年度産休、育休習得予定者は以下の通り。

(正職 2 名)

・令和 5 年度途中入職者は以下の通り。

(常勤パート 2 名、派遣職員 2 名)

・令和 5 年度退職は以下の通り

(正職 3 名、常勤パート 1 名、短時間パート 1 名)

・令和 5 年度途中退職者は以下の通り。

(正職 2 名)

・令和 5 年度産休、育休拾得者は以下の通り。

(正職 3 名)

反省

・今年度は、産休育休取得者や自身の体調不良による年度途中の休職者が多かったが、育休明け復帰者も多くいたので、申告な職員不足という状況ではなかったが、職員配置を変更せざる得ない状況により、落ち着いて仕事が出来なかったのではないかと思う。

・新卒者採用活動に関しは、毎年明德短期大学から1名採用することが出来ており、令和5年度も継続することが出来た。実習生からの採用なので、実習を行う学生へのアプローチをしっかりと行う必要があると感じた。

・働き方改革では、職員に最低15分は保育室から離れて自分の時間をとる様に推進した。クラスからは離れて過ごすことが出来ているが、休憩ではなく仕事をしている職員が多いので、自分の時間を休憩時間に使えるよう、実務の効率化を進めていく必要がある。

地域交流推進執行報告

活動方針

社会福祉法人としての位置づけを職員間で理解し、地域交流に関する意識を高める。

年間目標

社会福祉法人としての位置づけを職員間で理解する。

みどりが丘保育園の特徴を地域に知らせることで、より開けた保育園を目指す。

執行報告

- ・地域に SNS でどのようにして発信していくか園内でアンケートを取った。
- ・HPに記載すること、内容を整理した。
- ・芋畑の草取りの実施。土曜日ではなく平日（主に金曜日）の夕方に行った。
- ・芋堀り遠足前に芋ツルを刈る日程調整、職員配置を行った。今回は午前中に行った。
- ・地域のお祭り「夏祭り」「秋祭り」へ参加した。その際に地域の会議へ参加したり、園児へのお知らせや募集した。
- ・地域の祭り当日は子どもたちの対応や土曜保育の対象園児を参加したりしていた。
- ・子育て支援センターにてベビーマッサージなどイベントを計画・宣伝・実施した。

反省

- ・職員全体に地域交流の活動を周知するために発信してきた。新型コロナウイルスが5類になったこともあり、地域での様々なイベントが開催されるようになった。地域の会議にも参加しイベントでは親子で参加し、卒園児などの関わりも持て楽しむことができた。
- ・HP や SNS での発信については様々な意見が出てきた。長い目を見て考えていかなければいけない事と個人情報の点や発信の仕方を今後しっかり決めたいうで運営をしていく必要がある。
- ・芋堀りでは地域の畑を借りて運営してきたが、管理をするうえで天候や職員配置などに苦戦した。畑までの距離も考え、今後の課題となる。

障害児保育・療育執行報告

活動方針

- ・子どもたち一人ひとりに対して同等に最善の利益を保証するために、「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」「参加する権利」の観点から、個々に生じた課題に関して積極的に向き合っていく。
- ・「子どもたちの育ちを支える力」を向上させるための知識を身に付け、各専門機関と密な連携を図りながらそれぞれにあった保護者支援を行っていく。

年間目標

- ・個々に合った援助の仕方、対応の知識や理解を深め、園全体で周知できるようにしていく。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染対策緩和に伴い、園生活を送る上での規定を検討し、発信する。

執行報告

- ・市内の養護学校のアドバイザーに来園する機会を設定、気になる子どもの様子を見てもらい意見

交換をした。

- ・保健師が来園した際にクラス担任を交えて情報交換をし、子どもの様子を見てもらった。
- ・気になる子について各クラスに月に1回書類を配り、記入してもらった。気になる子の様子や対応・変化について話し、園全体での共通理解を図った。
- ・月に1度会議を設け、情報交換や参考となる書類の配布を行った。
- ・園内研修の取り組みとして療育専門の講師とオンライン研修開催。
- ・市の療育機関のパンフレットを用意したり、どんな相談を受けているのかをまとめたりし、保護者が見られるようにした。
- ・進級に向けて子ども達の伝達事項の共通理解を図った。

反省

月に1回会議にて障がいとは何か、また療育施設を通うためにどのようなことが必要なのか等発信することができ、また各クラスの気になる子どもの様子や対応の仕方、困っていることなど全体で考え、会議に出席している職員が話しやすい環境の中意見交換ができた。

研修で得たことを会議で発信することもできた。

療育施設職員が各クラスまで送迎してもらうようになり、担任と連携が取れたことは良かった。年に1回は療育施設職員と話し合う時間を設けたことで、情報共有も行えた。各クラス該当児の保護者とも連携が取れているように感じた。今後も定期的な情報交換をしていきたい。

事故虐待防止対策執行報告

年間目標

- ・会議やクラス内での保育の振り返りを通して事故・虐待に対する意識を高めていく。
- ・園で起こりうる事故・虐待を防止する策の見直しと実施。

執行報告

- 4月
 - ・心肺蘇生や緊急時の際の手順を配布。
 - ・ヒヤリハットの書式を変更する。
- 5月
 - ・止血・救護の手順、近隣病院の情報を保育者が見る用に配布。
 - ・危険箇所についての共有
- 6月
 - ・水あそびの仕方、全体の共有。水あそびの注意点を考える。事例①
 - ・駐車場にライトを設置。
 - ・プールの濃度の測り方の作成。
 - ・プールの監視者や人数把握の書式を作成。
- 7月
 - ・夏の事故。保護者と保育者目線で夏の注意点を考える。事例②
(車の置き去り、人数確認等)
 - ・子どもの車内放置禁止の貼り紙をする。
- 8月
 - ・SIDSチェックと乳幼児突然死症候群について再確認のレジュメを配る。
- 9月
 - ・虐待について事例③
- 10月
 - ・気になる保護者の全体で共有、提案や方法を考える
- 11月
 - ・保護者の虐待。事例④
 - ・地域の子育て支援情報の共有。
- 12月
 - ・保育者の虐待。セルフチェックリスの見直し。
 - ・チェックリストの配布。

- 1月 ・ 保護者や保育者が心にゆとりを持って過ごす為にできることについての話し合い。
- 2月 ・ うつぶせ寝防止の貼り紙をする。
- 3月 ・ 来年度は午睡時、電気を全部つけて寝るようにもう一度周知する。

反省

年間計画を元に、事故虐待について、振り返りや共通理解をはかることができた。園だけでなく、自分の身近に起こりうる事例についても多く取り入れ、話し合うことができた。いろんな角度から見た事故虐待についての見直しや呼びかけの資料や貼り紙を準備できたので今後も発信していきたい。

乳幼児環境構成執行報告

活動方針

- ・ 園庭や保育室に必要な環境を充実させる。

年間目標

- ・ 保育における環境構成を充実させ、子どもたちの発達に合わせた環境構成や子どもたちの「やりたい」が発揮される環境を作る。
- ・ 年齢に合わせた行事の在り方を伝え、伝統に触れる。

執行報告

- ・ イベントや行事のやり方や活動内容の詳細・反省についてまとめ、共有する。
- ・ 行事によっては、集会を計画・立案し、実行する。
- ・ 自然環境保育への取り組みを推進し、10月より千葉県自然環境保育認証園として認定を受けた。
- ・ 毎月1回程度自然環境保育委員会を開き幼児組を中心に敷きに合わせた活動計画を考えアドバイスをを行った。
- ・ 園内研修の中で、自然環境保育への取り組みについて報告した。1年間の活動内容をスライド等で職員に知らせ、今後の取り組みについての意見交換を行った。

反省

- ・ イベントごとに各部署で装飾をしたり、遊びに取り入れたりして、季節を感じたり、子どもたちが楽しむことができたので良かった。
 - ・ 集会は、幼児組が中心で計画したが、結果として乳児組の子も参加していた。子どもたちが、飽きないよう短い時間で行ったことで負担が少なかった。
 - ・ 伝統行事やイベントの取り組みについてのサポートをどこまで行うか、製作や環境構成についても他部署のリーダーと連携して考え方をまとめることが大事であると思った。
 - ・ お散歩マップの作成については、あまり進められず、中途半端になってしまった。
- どのような形で製作するのが良いのかも含め、来年度内容について引き続き考えていきたい。

防災安全対策環境衛生執行報告

活動方針

〈防災〉

- ・ 有事に備えた計画を立て実践する
- ・ 訓練を通して有事の際に命を守るための的確な対応を学ぶ
- ・ 子どもたちへ有事の際の対応を簡単に伝えていく

〈環境衛生〉

- ・ 衛生的かつ安全に保育園生活を送れるように園全体の環境見直し、整える。

年間目標

〈防災〉

- ・ 訓練に参加し、職員全体で反省や改善を話し合い共通理解を深める。
- ・ 園児自身が安全の為に訓練を理解し自ら進んで参加できるようにする。

(環境・絵本)

・職員も使いやすく、行事等の際に役立つ絵本棚にしていく。また、絵本を通じて季節や自然の関わりを深めるきっかけを作れるよう努める。

執行報告

避難訓練報告

- 4月会議が重なり訓練なし
- 5月前半ベルの音を聞く・後半幼児棟からの火災
- 6月不審者
- 7月時間外(朝) 想定地震
- 8月幼児棟水害
- 9月引き渡し訓練
- 10月震度6強想定
- 11月消防立ち入り(今回はなし) 火災想定
- 12月不審物想定
- 1月火災想定
- 2月地震想定
- 3月水害想定

環境防災報告

5月避難経路や訓練に必要な事項を周知、防犯ブザーの購入、備蓄確認、ハザードマップ配布
6月～8月さすまたの使い方、サーチライトの設置、緊急車両の連絡の仕方、防災バック点検
9月～11月引き渡し訓練反省・見直し、ネームプレートの強化月間
12月～3月不審者の事例話し合い、防災バック点検、訓練見直しの為のアンケート実施
絵本、季節や月に合わせた絵本の提供や絵本コーナーで絵本を紹介、絵本の購入
園内・園外、月の点検、危険個所見直し、衛生管理
園芸、月の花壇の管理

反省

避難訓練の会議を通し話し合うことで個々の防犯、防災意識が少しずつ見られた。今後も訓練や話し合うことで意識を高め、一人ひとりが考えて動いていけるよう取り組んでいきたい。

職員にアンケートを取ったことで訓練の幅も広げることができた。

今回引き渡し訓練に日にちが週末になり荷物の関係上危険が見られたので次回の反省に繋げていきたい。

環境は係で話し合い連携し保育園の環境管理が出来た。係だけではなく職員全体で衛生管理を心掛けていけるよう引き続き声を掛けていきたい。

保育実践マネジメント執行報告

活動方針

・一人ひとりの職員が主体的に考え、学ぶ中でそれぞれの特性を活かした保育を行う。

年間目標

・一人ひとりの職員の資質向上及び職員全体の専門性の向上

執行報告

◆園の理念や方針を末端まで伝えるべく上司の助言を聞きながら連携を取りつつ組織的に伝えていった。

◆職員が主体的に園内研修・外部研修・勉強会等に参加できるよう計画し、開催した。

(山武市会研修、園内研修一年10回程度、自主勉強会等)

◆自主勉強会を開催し、キャリアアップ研修で得た知識を職員間で共有できるようにした。

(乳児保育、幼児保育、障害児保育、食育アレルギー対応、保健衛生、安全対策、保護者支援、子育て支援、マネジメント等)

◆各分野別リーダーと定期的に意見交換を行い、指導を行った。

乳幼児環境構成・・・加藤岡

障害児保健療育・・・丹

事故・虐待防止対策・・・本間

地域交流推進・・・橋本

防災安全対策環境衛生・・・加藤岡、橋本

◆年間カリキュラムの見直しや改定保育所保育指針に合わせた保育内容の確認・指導等を行った。

◆マネジメントを行い、職員の心身の健康や管理を行った。

職員のシフト管理、配置、朝礼
新規採用者オリエンテーション（3月）
ICT化を促進させる。

◆実習生、インターシップ受け入れ及び日程調整、オリエンテーション（6月から随時）を行った。

◆保護者支援について

クラス便り、クラスでの活動を伝える方法（ドキュメンテーション）等への指導や助言を行い、保育内容や子どもの姿を保護者に知ってもらえるようにする。又、ICT促進に繋げた。

◆遊びの環境について

物的・人的・自然・社会について各部署との連携を取りながら振り返り、改善を行った。

反省

- ・令和5年度はキャリアアップ研修に多くの職員が参加できたため、一人ひとりの資質向上や専門性の向上へつながった。
- ・自然環境保育についての園内研修を多く計画、実行し、担当職員だけでなく園全体での共通理解が図れた。
- ・ICT化促進に向け、保育士バンクを年間通して利用できるようにした。お知らせの配信だけでなく、幼児組では毎日連絡帳機能を利用し、保育の様子を知らせた。
- ・実習生は、日程調整を行い可能な限り多くの方を受け入れた。その中で、就職に繋がった方もいた。
- ・クラスよりも保育士バンクを使つての配信に変更し、定着した。
- ・配信するクラスだよりやお知らせ、日々の子どもの様子などは、わかりやすく伝えられるよう助言を行った。

保健衛生マネジメント執行報告

活動方針

- ・自らの体や健康に関心を持てるように、また健康で安全な生活を作り出す力を身につけていけるように、年齢に合わせた保健教育・指導を計画し実施する。
- ・職員が保健衛生・健康安全対策に関する知識を得たり、問題提起できるような指導や働きかけを行う。

年間目標

- ・園児や職員が心身共に健康で安全に過ごせるよう、一人ひとりの発育・発達状態や健康状態を配慮しながら保健衛生活動を行う。
- ・職員の保健衛生・健康安全対策に対する意識や知識の定着・向上を図る。

執行報告

- ・毎月の会議で月間保健目標を提出してもらうことで、各クラスで保健に関する話し合いをする機会を持つことができた。またその保健目標を達成するために、クラス担任と相談して保健指導を行なった。（歯の衛生、咳エチケット、手洗い）
- ・年2回の歯みがき教室の実施。
- ・歯科検診と内科健診を年2回実施し、園で受けられなかった園児に対し嘱託医での個別健診を促した。また健診結果を保護者に知らせ、異常などの指摘があった園児に病院受診を勧めた。
- ・子どもたちの健康状態や欠席者の情報、毎日の欠席者人数等をクラス担任と連携をとり、把握・記録・情報共有することで、サーベイランスに活用。また、体調不良児や病欠者の保護者へ積極的に声かけし、状態把握や助言を行なった。
- ・朝のラジオ体操の継続。次年度継続するかどうか、やり方や持っていく方等の見直し。
- ・コロナ5類への移行に伴い、保護者参加行事時の感染予防対策の見直しを行ない、検温・健康チ

ェック票の廃止。

- ・全園児の出生時からの身体測定値の入力、及び成長曲線を作成し、それを元に発育異常等の疑いや傾向のある園児に関して担任と情報共有し保護者へ助言。栄養士にも情報共有。卒園児へ、出生時から身長の伸びた分と同じ長さのリボンを用意し、成長曲線をプリントした用紙に結び記念に渡した。

- ・嘔吐処理セットチェックリストを各クラスに配布。会議の際にチェックし持ち寄ることで、嘔吐処理セットへの意識づけを試みた。また、会議の際に空気清浄機やエアコン等の点検や清掃の声かけを行い、衛生への意識向上を目指した。

- ・年長児に対し「いのちの安全教育」の一環として、プライベートゾーンについての話を行なった。

反省

- ・体調不良者の増加がみられた際には保護者へメール等で通知するなどし早めの対応を心がけることができた。

- ・「職員のストレスチェック」や「疲労蓄積度自己診断チェック」を行なうタイミングを逃し、実施することができなかった。昨年度実施してみて、ストレスや疲労蓄積度を把握することができたので、来年度以降は実施する時期を決めて、毎年行うようにしていきたいと思う。

- ・「体調不良児が多いのでメールを流していいですか」とクラス担任から申し出があり、コロナ5類移行後も感染予防に対する職員の意識の向上がみられた。

- ・いのちの安全教育の一環としてプライベートゾーンについて話をしたが、1回のみで時期もプールの時期を逃してしまっていたので、次年度はタイミングを逃さないようクラス担任と相談しながら行っていきたいと思う。

年間反省

今年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い今までのコロナによる公的措置(コロナでの登園停止による保育料減免措置の廃止、濃厚接触者の定義の廃止、感染時の治癒後登園する際の書類変更等)の変更により、園生活形態も変化しつつある年度であった。

基本的な感染症対策は引き続き行いながら、行事での保護者参加人数の変更やクラス単位の参加ではなく合同参加に切り替える行事も増やしていった。年間を通して、保護者・園児・職員共にコロナに感染する人数は0にはならず、定期的に感染者が出ていたが広く流行することはなかった。胃腸炎や手足口病、水疱瘡、RSウイルス、インフルエンザなどの感染症が広がる傾向であった。集団生活というところでは、様々な感染症が蔓延しやすい状況は否めない部分があるができるだけ感染拡大の防止として手洗い・うがいの徹底やおむつ替え、鼻汁処理時のアルコール消毒、換気、湿度調節、玩具消毒などの感染症対策に加え、熱発児の隔離、子ども達の健康管理、職員の健康管理など体調の変化に敏感に察知、対応に努めた。職員のマスク着用に関しては個人の判断に委ねた。様々な感染症対策としては有効なもの、保育をする上で表情を見せながらの関りも大事にしていきたいところがあり、今後個人の意向も尊重しつつ今より素顔が見える状況を増やしていきたい。

外部研修の開催も多くなり、積極的に受け保育の質の向上に努めた。オンライン研修のときとは違い、対面で他園の保育士とディスカッションすることは刺激になり自園の保育を振り返りながら他園の参考になる事をみどりが丘保育園で行うにはどうしたらよいのか等向上心へつながっている姿が見られた。

10月より千葉県自然環境保育認定制度というあらたな取り組みにも参加し、認定を受けることができた。自然に囲まれたみどりが丘保育園の特徴を存分に活かせるように、新たに始めていく

事、今までの自然の中で保育をしてきた事を掛け合わせより子ども達への経験の幅をどんどん広げていけるよう考えていった。実践につなげるよう自然環境に関する研修を行い、定期的に専用の会議を開き、計画・準備・実践・振り返り・報告会と考えだけで終わらないように進めていった。次年度へ継続するため今年度であがった課題を一つ一つ向き合いながら、来年度も計画的に取り組んでいく。

特別保育事業の稼働率は一時保育 85%、病後児 70%、子育て支援センター50%であった。

3事業所とも 100%には至らなかったものの、コロナ禍のときより巻き返してきていた。子育て支援センターでは今年度より近隣に施設規模も大きな支援センターが出来たこともあり利用者獲得が困難であった。その中でも小規模ならではの強みを伸ばしていき、育児相談や保護者同士のコミュニケーションの架け橋になる事や、ゆったりと過ごしてもらえるような空間づくりの提供を心がけていった。親子で楽しめるイベントも増やしていき、参加者からはとても好評をいただいている。今後よりみどりが丘保育園の支援センターを多くの人に知ってもらうために、SNS を活用したり、予約をとりやすくするシステムを導入したりと検討中である。

昨年度より自園でも ICT化を取り入れ、業務の効率化に努めているが、劇的に職務の軽減、時間の余裕に繋がる事にまでは繋がっていないのが現実である。働き方改革として職員の負担軽減、残業なしを目指し日々の保育の見直し、行事の在り方、書類内容・会議内容の改善等に取り組んでいる。簡素化しながらも、子ども達への保育の質は落とさず、子育て支援・保護者支援の向上をするためには職員一人ひとりの質の向上が不可欠であり、それをサポートするための組織作りを目指す。職員が自発的にやりたいと思うことを形にし、やりがいを感じられるように、行事中心ではなく形式にとらわれない普段の保育の充実に意識を変えていきたい。

当園は 170 名以上の園児がいる大規模保育園ではあるが、子ども達の個性を尊重し、個々の成長に寄り添った保育をしていく為に、少人数グループで過ごす形をとっていききたい。乳児から職員との 1 対 1 の関係を密に築く事で世界を広げ他児との関わりの楽しさを経験し、幼児期の集団生活へ移行し社会性を育てていく成長を見据えながら保育を組み立てていく。大規模保育園だからこそ、少人数保育で得られるもの、大人数で経験できることと選択肢も多い事をメリットとして捉えていく。

今年度より乳児クラス対象に紙おむつ、食事用エプロン、口拭きのサブスクを導入した。その他に幼児クラス対象に口拭きタオルの廃止、食具の準備不要、月間絵本の購入廃止等家庭で準備しているものを園で用意し提供することで少しでも保護者への負担軽減につながるようにしていった。その他にも園全体のことからクラス単位や日常生活の中で軽減できるものがないか見直し、来年度からでも実施できるようにしていく。

R5年度 保育園における自己点検・自己評価

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3)環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。		○			
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日 時 程	(1)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。			○		・より子どもが遊び始めやすい環境をつくる必要がある。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。			○		・コロナウイルス5類へ移行した事で行事の内容や参加人数の制限見直し。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。			○		・行事の根本的な意図やねらいを今一度見直す。
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。			○		・コロナ明けに対応すべく、努力はするものの思うように計画的にはいかなかった。
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。			○		・新たな取り組みの中でも保護者の希望を全て取り入れられたわけではない。

※A、B、C、Dの4段階評価。A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容		評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営 ・ 組織	分掌・体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。		○			
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。			○		・委員会や会議内容は定期的に見直しが必要。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○		・主任・リーダーを通して個々の役割を理解させるよう努める。
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。			○		・適切と思える内容にしていかななくてはならない。
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているのか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。			○		・各部署、連携に対しての意識の改善の必要あり。
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を図っているか。		○			
		(3) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。			○		・徐々に地域社会との連携を取っていく。
	研究・研修	園内研究・研修	(1) 研修主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○			
(2) 園内研修の計画・運営は適切か。			○				
(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。					○		研修で学んだ事を実践する応用力の強化が必要。
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。				○			
園外研		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加姿勢の充実を図っているか。		○			
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○			
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○					
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○				
	(3) 各票簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○				

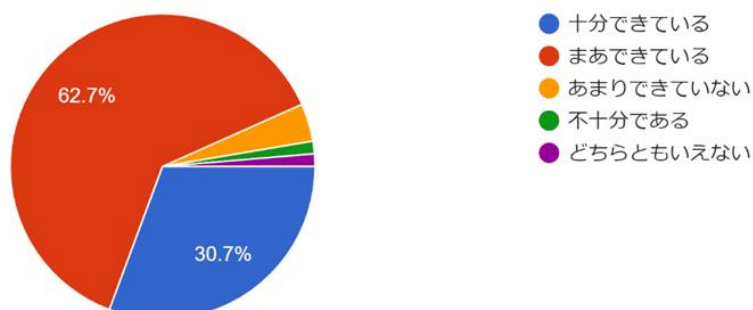
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○				
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4)掲示板、掲示場所等を適正かつ適切に処理しているか。		○				
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○				
開かれた保育園づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等と年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			
		(2)他施設等の児童と触れ合う中で、乳幼児が充実感を味わえる配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3)指導者間で、合同研修等にて互いの保育・教育に対する共通理解を図っているか。		○			
		(4)参観や保育・授業に参加するなどして、幼稚園小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	地域交流・連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	情報について	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室を開放しているか。		○		
			(2)地域の子ども、あるいは親子と一緒に遊ぶことができる場の設定を行っているか。		○		
			(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
			(4)職員による育児に関わる「子育て相談」は充実しているか。		○		
(5)医療機関、児相等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。			○				
情報発信		(1)園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			
		(2)行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○	・地域の公園等情報発信の場を設けているがその他のアプローチも模索中	
外部評価		(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○	・第三者評価の導入に至っていないが今後検討。	
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○	・全ては難しいが、検討課題として対応していく	

R 5年度 みどりが丘保育園 保護者アンケート

I 園の運営に関する項目

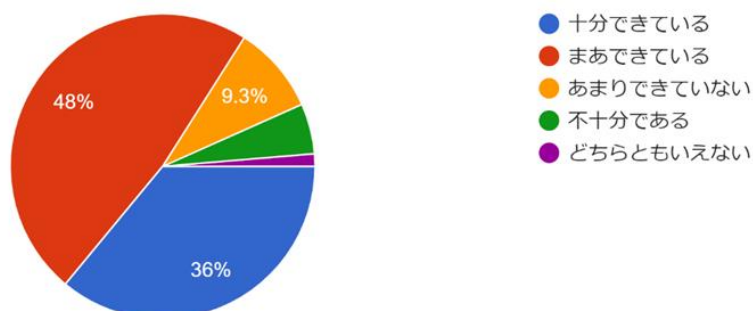
I-1) 園の保育理念、保育方針、及び保育目標について説明は十分にされていますか。

75件の回答



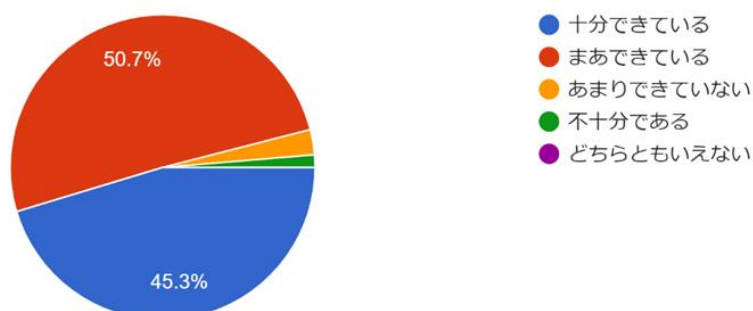
I-2) 園は、保護者と連絡の手段をとり意思の疎通が図れている。

75件の回答



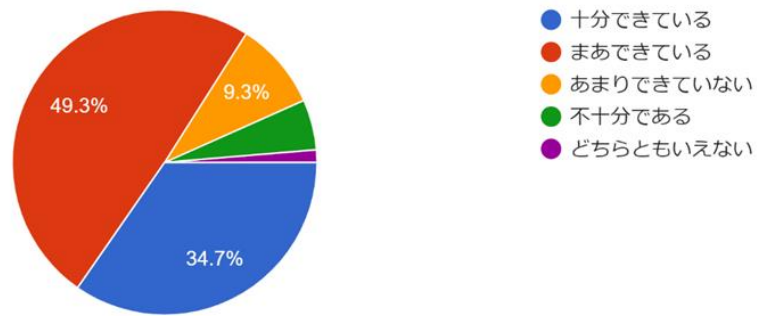
I-3) 子ども達の様子は、行事やおたよりを通して知ることができている。

75件の回答



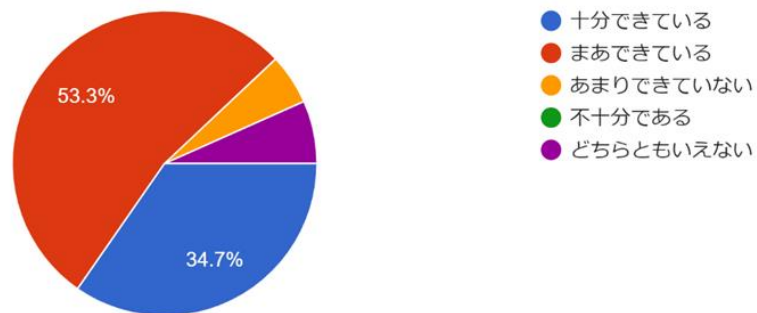
I-4) ケガや問題が起きた時に、丁寧にわかりやすく状況を伝えているか。

75件の回答



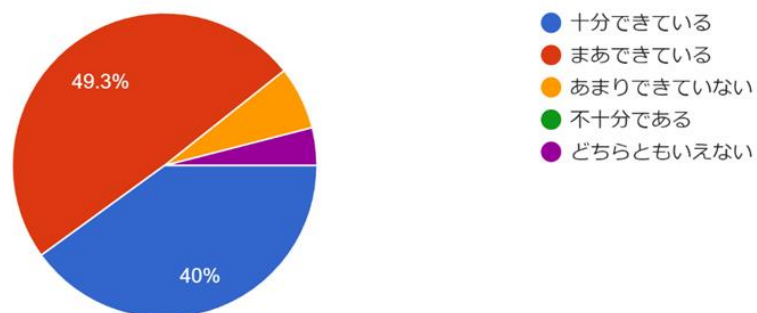
I-5) 子ども同士のかかわりを持てるような働きかけがみられた。

75件の回答



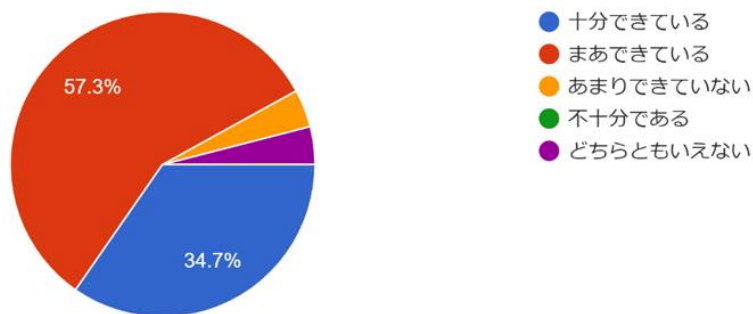
I-6) 子どもの発達に応じた保育環境に努めている。

75件の回答



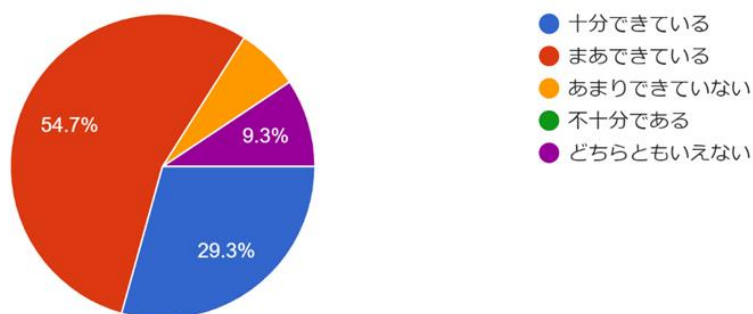
I-7) 園庭遊具や建物内は、子どもに合わせた安全対策が施されている。

75件の回答



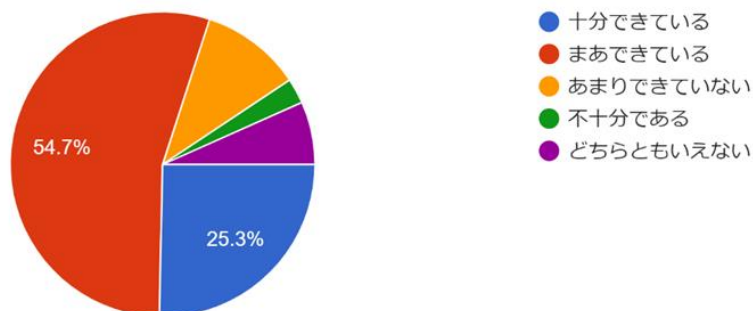
I-8) 園の子育て支援（相談窓口、育児関連施設の紹介など）は、充実している。

75件の回答



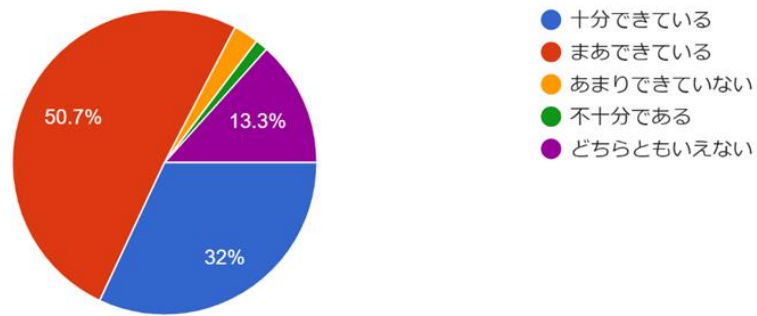
I-9) 園の感染症対策は適切に行われている。

75件の回答



I-10) 地域にひらけた園として役割を果たしている。

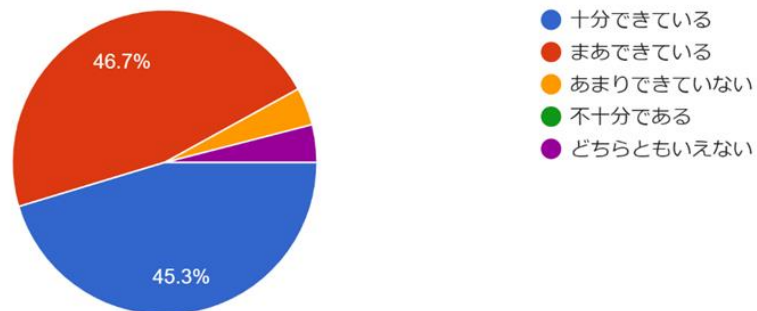
75件の回答



II 職員(担任に限らず)に関する項目

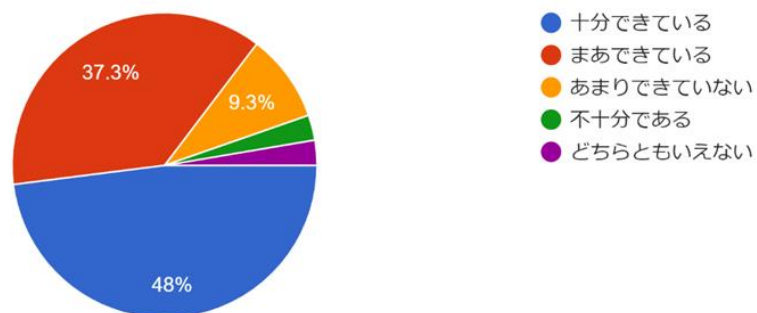
II-1) 職員は、子どもをよく理解し、一人ひとり...や特性などに配慮しながら関わりを持ってている。

75件の回答



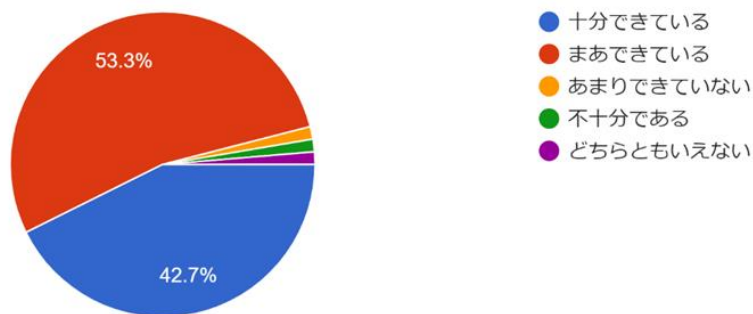
II-2) 職員は、子どもの様子についての連絡や相談に、丁寧に対応している。

75件の回答



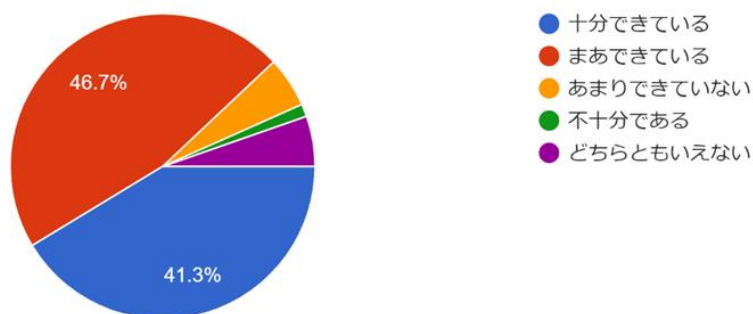
II-3) 職員は、子どもに対する声掛けや関わり方が適切に行われている。

75件の回答



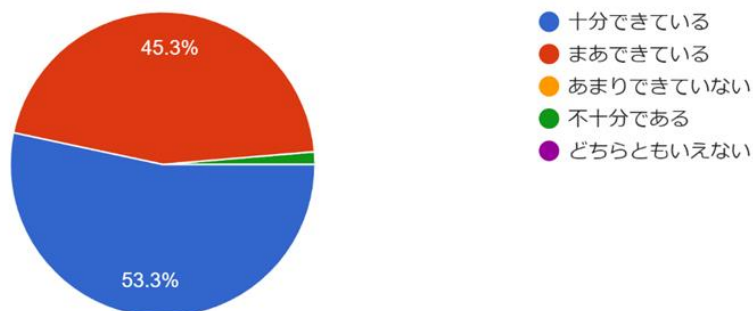
II-4) 職員は、園児や保護者の悩みや問題に対して適切に応じている。

75件の回答



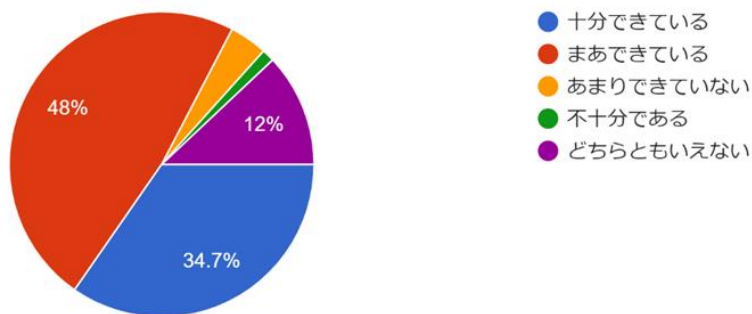
II-5) 職員は、園児や保護者と明るく元気に接し、気持ちの良いコミュニケーションが図れている。

75件の回答



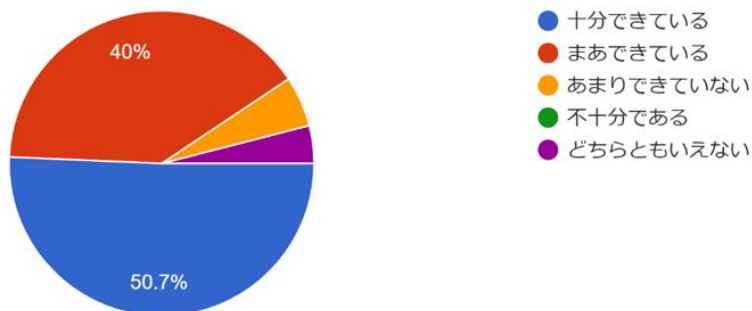
Ⅱ-6) 職員の様々な立場に応じて、園の理念に沿った取り組みがみられる。

75件の回答



Ⅱ-7) 給食の献立や食育活動について、わかりやすく説明されている。

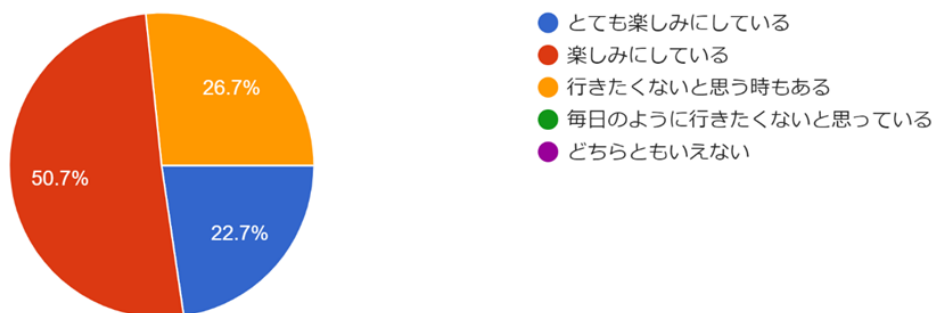
75件の回答



Ⅲ お子さんに関する項目

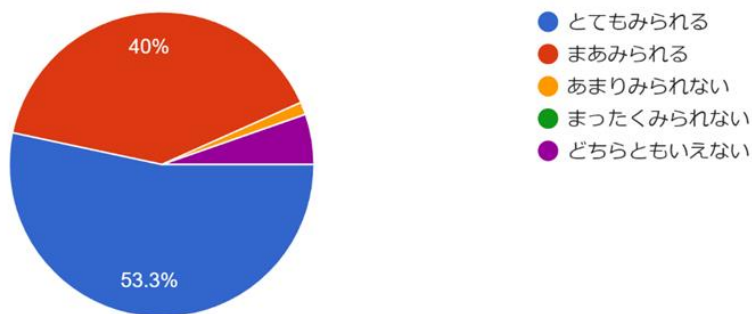
Ⅲ-1) お子さんは、保育園に行くことを楽しみにしていますか。

75件の回答



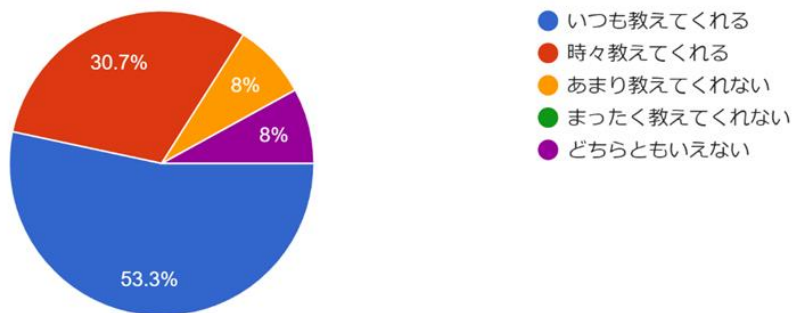
Ⅲ-2) お子さんは、職員に信頼を寄せている姿がみられますか。

75件の回答



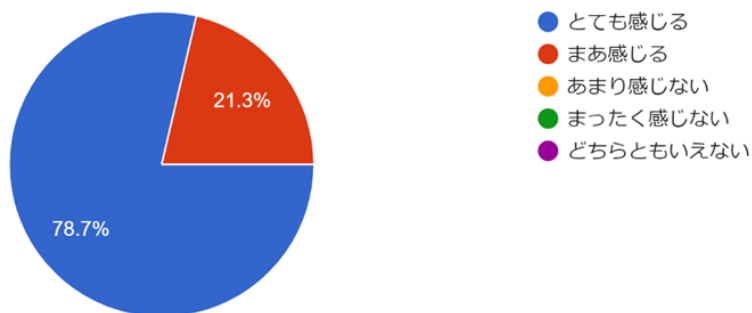
Ⅲ-3) お子さんは、保育園での出来事をお家で教えてくれますか。

75件の回答



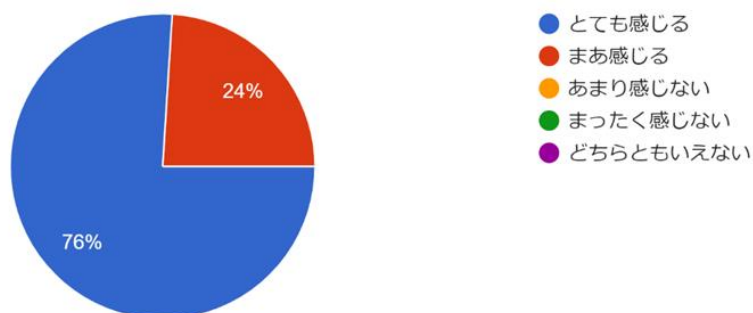
Ⅲ-4) 保育園での大人や友達との関わりがお子さんの成長に大きく影響していると感じますか。

75件の回答



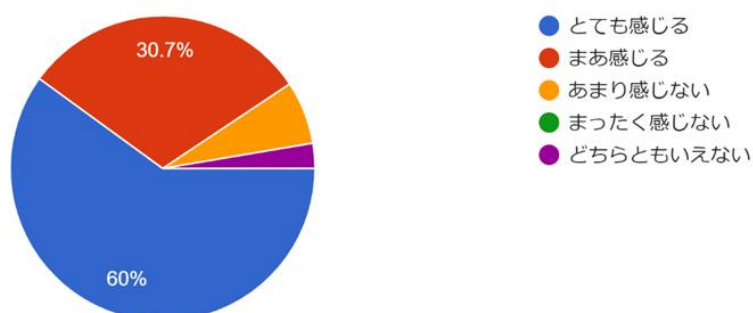
Ⅲ-5) 保育園に通っていることで、お子さんが力強く、たくましく成長していると感じますか。

75件の回答



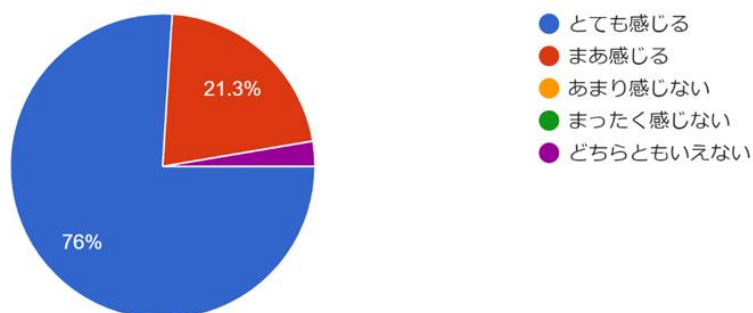
Ⅲ-6) お子さんは、保育園の給食をおいしくいただいていると感じますか。

75件の回答



Ⅲ-7) お子さんは、保育園の行事やクラスイベントを楽しんでいるように感じますか。

75件の回答



ご意見をご自由にお書きください。

・子どもが遊びたい遊び、遊びたい場所、遊びたいものを自由に選んで楽しんでいるのはいいが、どこで遊んでいるのか把握できているのが不安。

〈回答〉

子どもの主体性や自主性を大事に様々な選択肢を設けていますが、職員の立ち位置や声の掛け合いの連携、確認表へのチェック等今一度安全対策を振り返り、最低限のルールを用いて保育にあたりたいと思います。

・お迎えの時「変わらないです」としか言われたい。子どもの様子が分からないので毎日教えてほしい。

〈回答〉

保護者の方とのコミュニケーションを少しの時間でもとっていき積み重ねていく事は重要なものと捉えています。限られた時間の中でできる限りお子さんの様子など伝えられるようにしていきたいと思います。ただ、他のご家庭とお迎えが重なり一家庭ずつ対応が難しい時間帯もあります。その為に毎日の保育士バンクでの今日の出来事配信や連絡帳を用いて伝えさせていただいておりますので、ご理解いただけたらと思います。

・門扉のオートロックキーボードが逆光で見えない。

〈回答〉

対応を検討していきます。

・誕生カードの購入は気が進まない。せめて記入欄に空白箇所がないようにしてほしい。

〈回答〉

記入漏れがあったこと、申し訳ございませんでした。お渡しするまでに担任間で2重、3重の確認をしていきます。

・口周り、鼻周りが食べかすや鼻水で汚れている事がある。肌荒れにつながってしまうので拭いてあげてほしい。

〈回答〉

申し訳ございません。こまめに鼻をかんだり、食後にはしっかりと口周りを拭き衛生を保っていききたいと思います。

・お知らせがメールで来ることもあれば、保育士バンクの連絡帳機能のみの時もあり、クラス前のホワイトボードにしか書いてない時もあるため見落とすので統一してほしい。

〈回答〉

保育士バンクのお知らせ配信でお伝えしたいと思います。

・配布物や年間行事予定など〇歳児と書かれている箇所と〇〇組と記載されている箇所とで分かりづらいので統一してほしい。

〈回答〉

ご意見を参考に懇談会でお配りした年間行事予定表は年齢で統一させていただきました。

・行事等のお知らせメールが遅い。予定が立てられない。

〈回答〉

時間に余裕をもったお知らせ配信ができるように努めてまいります。

・行事の人数制限が厳しすぎる。

〈回答〉

今までは感染症対策として制限を厳しくさせていただきましたが、今年度から変更になった行事もあります。また行事での人数制限は遊戯室やクラスなどの広さ等を考慮した上で決定させていただいております。保育参観の人数制限は給食の試食へのランチルームの席の確保や給食準備に支障がでない程度の試食提供数の他に参観に来ていない子どもへの負担(特に乳児クラスへは人見知りや個々の生活リズムが違う中での環境確保)などの理由から設けさせていただいております。ご理解頂けたらと存じます。

毎年子ども達は保護者の方と一緒に過ごす時間をとても楽しみにしており、保護者の方々もお忙しい中、園の行事に参加していただき誠にありがとうございます。

・夕方、各クラスの園児達が同じクラスに密集しているので感染対策を考えると不安である。

〈回答〉

職員のシフト制勤務形態により、お迎えの時間帯の様子を見ながら合同保育にしています。あまりにも子ども達の人数が減らない状況である場合はその時々で勤務をのばし対応しております。

・運動会や発表会は土曜日に開催してほしい。

〈回答〉

職員の勤務体制として、土曜日に出勤した場合完全週休二日制なので平日に休みを頂かなくてはなりません。平日の職員人数の確保を厚くし、子ども達の保育に努めさせていただいております。

・歯みがき指導があるのに園でしないのは残念だ

〈回答〉

監査機関にて子どもの歯みがきは必ず座ってする事、飛沫が飛ぶので周りに子どもがいない空間でする事と指導がありました。保育園の限られたスペースの中で今いる子ども達の人数で指導された条件を満たす環境をつくるのが困難なため、園では食後に必ずお茶を飲んだり口を漱いだりしています。保健師の方でもその対策でも十分に口腔ケアはできているとの事でした。歯みがきに関してはご家庭にてお願い致します。

・16時頃のお迎えラッシュの時、駐車場で保護者の立ち話が目立ち車が停められない。また保護者駐車場で前向き駐車をしているご家庭がいる。子どもが急に出てくる事もあるので、後ろ向き駐車にしてほしい。

〈回答〉

定期的に注意喚起のアプローチをかけさせていただきます。続くようでしたら個人的にお声掛けをさせていただきます。

お迎えが重なる時間帯ではできる限り後ろ向き駐車をお願い致します。

職員駐車場では民家に沿ったスペースの所では前向き駐車のご協力をお願い致します。

・問題や事故が起こった時園長の対応が全くなく不満を感じた。

〈回答〉

誠に申し訳ございませんでした。今後は真摯に対応させていただきます。

差し支えないようでしたら、どの出来事であったかお知らせ頂けたらと思います。

・子どもの怪我についての対応でしてしまった側の家庭に伝えているのか？園の責任として言わない形とっているのであれば、保護者会などで説明してほしい。

〈回答〉

今年度の懇談会で説明させていただきました。ご意見ありがとうございました。

・幼児棟トイレ前のオムツ替えスペースが廊下でパーテーションもなく、お迎えに来た保護者から丸見えになっているのが気になる。

〈回答〉

既存の仕切りの高さを変えたり、オムツ替えの場所の変更を視野に入れ検討させていただきます。

・働いているから保育園に預けているのに、個人面談の時間が17時以降がないのは不親切。運動会や保育参観に合わせて面談をしてほしい。

〈回答〉

基本的には職員の労働時間内で行っています。17時以降ではシフト勤務により退勤する職員、遅番職員に分かれ遅番職員は保育にあたっていますので個人面談をするのは困難です。運動会や保育参観のご提案もありましたが、約170家庭の面談を短期で行うのにも時間的余裕、場所、職員確保が難しい状況にあります。保護者の方々のご都合もあるかと思えます。できる限り早く予定のお知らせをしご検討いただきたく、今年度は4月に各クラスの個人面談予定を提示させていただきました。ご理解とご協力のほど、宜しくお願い致します。

・前からいる先生ではないが、目があっても笑顔も挨拶もない方がいるので、実習生だとしてもしっかり指導してほしい。

〈回答〉

大変申し訳ございませんでした。職員に向けても気持ちの良い挨拶の必要性を伝えながら、実習生への指導も行いたいと思います。

・保育園の個々の持ち物で、次年度から使わなくなるものは早めに知らせてほしい。手拭きタオルや三点セットなど、安い時に買ってしまう可能性がある。

〈回答〉

今後も保護者の方々に用意してもらう物等負担軽減になる事を精査し決定事項については早めにお知らせできるように致します。

・一年一年成長が見られ先生方には大変お世話になりました。

・各クラスの先生を決める際に、きっといろいろなご配慮があるのだと思いますが、そのお心遣いに深く感謝申し上げます。親も子も満足できるクラスになったと心から思います。ありがとうございます。

・2年間短い間でしたが、子供の成長をととても感じる事のできるかけがえのない時間でした。本当にありがとうございました。

・みどりが丘保育園の先生方は自分のクラスのみならず、他のクラスの子、兄弟児にも声をかけてくれて、よく覚えてくれているな、よく見てくれているなど感じています。子供との関わりの中で大変なことも多いかと思いますが、子供たちの成長に携わっていただき、いつも感謝しています。ありがとうございます。

・みどりが丘保育園で子ども2人がお世話になりましたが、とても感謝しております。毎日楽しく通えたこと、先生やお友達が大好きで、楽しそうに毎日話してくれました。保育園ならではの他の年齢の子供たちとの関わりやクッキングなど、日々取り入れてくださり、いろんな経験をさせてくれました。素敵な環境で、子ども達も保育してくださり、ありがとうございました。

・登園回数が少ないため、親も子も不安でしたが、先生方のお陰で（個別に情報を連絡下さったり、ノートに記入した不安事にも回答下さったので）安心して登園させることができました。

・保育士バンクのアプリで先生が今日の出来事を入力してくださることで様子がわかりとても良かった。

・子どもが毎日保育園に行くことを楽しみにしています。先生方にとてもよく見ていただいており、大変感謝しています。連絡ノートに毎日、子どもの園での様子を細かく書いてくださり、よくわかりました。毎日書いてくださるのは、ありがたいですが、たくさん子どもがいるので、とても大変だろうなあとも感じました。先生方もお身体に気をつけて、これからも働いてくださればと思います。

アンケートのご協力ありがとうございました。保護者の方々の貴重なご意見を受け止め、これからも子ども達や保護者の方々が、みどりが丘保育園に通って良かったと思っただけのような場所であり続けるために改善していきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い致します。